

# 危険ブロック塀の撤去に対する補助制度が創設！！



周知が広がることを期待しています！

2018年9月議会の一般質問で提案した危険ブロック塀の撤去に対する補助制度が創設されることになりました！(昨年6月の大阪府北部地震により小学生女児が倒壊したブロック塀に挟まれ亡くなるという悲劇を繰り返さないため提案)この間、補正予算などあらゆる手段を講じ、成田市においても速やかに危険ブロック塀の撤去など、学校施設・通学路の安全対策を講じるよう働きかけてきました。学校施設内における2.2m以上の危険ブロック塀(6校9箇所)が改修される一方で、通学路などにおける補助の必要性を提案。通学路(学校施設外)における危険ブロック塀は民有地のため、ブロック塀の改修には所有者の理解と費用負担が不可欠です。そこで、ブロック塀改修に要する費用の一部を助成する制度を創設することで改修のスピードアップすることを提案してきました。今回の制度創設により危険なブロック塀等の倒壊を未然に防止し、市民のみなさまの安全な歩行空間が早期に確保されることを期待しています！



### 危険コンクリートブロック塀等除却工事費補助制度

対象	市内に存在する危険コンクリートブロック塀などを所有する個人・法人
補助額	事業費の1/2(上限額10万円)

# 医療産業集積に向けて戦略的な第一歩となる新駅設置を！

成田国際空港のさらなる機能強化への対応と国際医療福祉大学附属病院と連携した医療関連産業の集積などによる新たな開発需要や人口増加に対応するため、吉倉地区から畑ヶ田地区までの約130haの基本調査が進められています。新駅構想は、京成本線の成田駅と空港第2ビル駅のほぼ中間地点にあたる吉倉地区に位置付けられています。現在成田市内には10駅が整備されており、新駅ができれば11番目となります。成田国際空港の機能強化策により1万人が、そして医療関連産業の集積などにより2千人の人口増加が見込まれており、新駅への期待度が高まっています。なお、請願駅として自治体が100%負担して設置するのではなく、鉄道事業者との交渉による負担軽減と、人口増への受け皿対応は両輪で推進すべきと考えています。成田国際空港と国際医療福祉大学を核とした「医療関連産業集積を戦略的に推進」すべく、これからも鋭意努力してまいります。

新しい街づくりのスタートです！

調査区域図 (調査面積 約130ha)

構想駅  
吉倉 調査区域  
久米野  
大学病院  
畑ヶ田



成田市議会議員

# 雨宮しんご

## 4年に一度の市議会議員選挙で政策提案できる議員を！

### 4年に一度の市議会議員選挙で、政策提案できる議員を！

平成31年度(令和元年度)の一般会計予算は606億円となり、国民健康保険特別会計など全会計の総計は982億円となりました。日本の人口減少、超高齢社会により、成田市においても扶助費をはじめとする義務的経費が増大しています。また、未来へのツケとされる「将来負担費比率の増加」も憂慮されます。

市民要望に応えることは「市政」の根幹ではあります。それを為すには柔軟なバランス感覚を持って行わなければなりません。過度な負担を将来世代に強いることのないよう、償還額のバランスに十分に留意し、より良い改善策を示すことのできるチェック機能としての市議会が求められています。

そのためには、問題点を把握し、その改善策を的確に策定し提案する企画力と実行力。広い視野に立った、市民生活向上のための立案力。次代を担う子ども達のためにツケを回さない、成田市の未来を描くことのできる展望力をもった議員が必要です！

未来へのツケか？  
将来への投資か？

平成の次の新しい時代にふさわしい  
政策提案できる議員を増やしましょう！

# 4/21 SUN 成田市議会議員選挙！！



# 成田に生まれて40年間、政治家として12年間、3期目の4年間。自信は確信へ。

「28歳の私には、未来への責任がある。」蒼き志を裡に私の未来への挑戦が始まりました。この12年間、必ずしも全てにおいて思い通りの結果が出せたとは言えません。それでも、決して弛むことなく議会では毎回登壇して政策論争を展開してきました。本気で挑戦を続ければ変えることができる。仲間たちと一緒に「成田の未来をもっとよくできる」という確かな手ごたえを今、感じています。

2010 ... 2007

## 政策立案こそが未来をつくる！

28歳。一人会派「蒼成会」として議会活動を開始しました。成田市の現状を調査、分析したうえで問題点を明確にし、その改善、改革のための行政資料を収集、精査。以降、公津の杜消防分署建設事業問題、成田新高速鉄道高額運賃問題、子育て支援、教育問題、赤坂センタービルアスベスト問題を取り上げてきました。

「地方から国(政治)を変える」を提唱する地方政治家たちの政策提言&設計能力を競う全国大会において、全国429自治体(県市町村)971件の中から全国ベスト5に選出され、政策立案能力が高い議員との評価をいただきました。

また、成田国際空港の盛衰は成田に直結することを政治活動をする中で実感し、羽田再国際化による地盤沈下を防ぐためには新たな成田空港の機能強化策(30万回容量拡大)を示すべきと公的な場で一貫した論陣を展開してきました。

こうした議会活動の傍ら、全国の都県議会議員や区市議会議員、それに自治体首長、大学教授、学生たちが参席した会場で講演するなど、活動の場を広げていきました。



2014 ... 2011

## 議会改革は議員改革にあり！

2期目となった2011年は、「東日本大震災」という未曾有の事態に見舞われた年でした。国の遅々として進まない原発対応には行政システムさえ疑いたくなったことを昨日のこのように思い出します。それでも、「成田でできることは何か？」を考え、情報発信や放射線量測定の実施と対策が実現、福祉避難所の設置や地域防災計画の見直しなど、安心安全なまちづくりに尽力しました。

空港政策では、LCC(格安航空会社)が成田に進出。ですが、開港時からのカーフェー(23時～翌6時離着陸制限)の影響で欠航・遅延が相次ぎ、使い勝手が悪い成田空港が露呈してしまいました。そこで、「カーフェーの弾力的運用をすべき！」と誰よりも早くタブーを恐れず空港発展に向け論陣を張り、翌年のカーフェーの弾力的運用の実施に寄与しました！

議会活動における最難関は『議員定数削減』でした。賛成少数で「否決」されてしまいましたが、「議会改革は議員改革にあり。」を明確に提示し、次につながる機会となりました。



2015

## 成田市議会最大会派「政友クラブ」幹事長を拝命

一人で政策を動かすことの困難さに気づいた私は会派「政友クラブ」に所属、後に幹事長を拝命しました。これにより全体の政策活動をマネジメントすること、議会全体を巻き込んでの戦略的活動を始めるようになりました。政務が増す一方で学びが多く、メンバーの皆さんとの連携により、取り扱う政策課題に幅と深み加わり、大学誘致問題や空港政策、廃棄物処理施設停止問題に力を発揮しました。

- 【6月定例会議 一般質問】  
成田富里いずみ清掃工場の稼働停止トラブル  
精密機能検査を提案⇒実現される
- 【9月定例会議 一般質問】  
成田国際空港3本目滑走路、夜間飛行緩和、B滑走路延伸  
医学部新設に伴う市の負担軽減
- 【12月定例会議 一般質問】  
成田空港の機能強化
- 【3月定例会議 一般質問】  
医学部附属病院整備に対する市負担軽減  
地域医療への貢献

2016

## 成田空港の発展が成田の未来をつくる

空港閣議決定から50周年を迎えました。半世紀を経て改めて成田国際空港を進展させることが成田市をはじめとした周辺市町の発展に寄与すると確信し、成田国際空港を中心に政策立案、空港周辺インフラや都心直結構想へと国・都・県との連携にも論陣を張り、市民・市内事業者育成の観点から補助金・入札制度改革に切り込みました。

また、侃侃諤諤議論した国際医療福祉大学の成田看護学部・成田保健医療学部がこの年、開設されました。

- 【6月定例会議 一般質問】  
都心直結構想事業化へ  
医学部新設と国際医療学園都市構想  
都市機能立地支援事業 高齢者対策
- 【9月定例会議 一般質問】  
入札制度改革 総合評価入札制度の推進  
低入札価格調査基準
- 【12月定例会議 一般質問】  
公正公平な補助金交付へ
- 【3月定例会議 代表質問】  
健全な財政運営 成田国際空港政策  
医療学園都市構想の実現 観光行政の推進  
防災・減災対策 教育行政

2017

## 38年ぶりとなる医学部が成田市に開設

成田空港開港から航空旅客数累計が10億人をこの年に達成。そして、日本38年ぶりとなる医学部が成田市に開設されるなど話題づくめの年となりました。

議会外活動としては、全国若手市議会議員の会千葉ブロック会長を仰せつかり、県内各地を回りながら党派を超えた同世代と連携して政策研究に勤しみ、成田市政に活かしてきました。

- 【6月定例会議 一般質問】  
人事評価と業績評価  
年次休暇、退職管理
- 【9月定例会議 一般質問】  
不祥事根絶に向けた取組  
セクシュアルハラスメント防止 体罰の根絶
- 【12月定例会議 一般質問】  
成田新市場移転再整備  
必要性・妥当性・将来性 市場移転者負担軽減策
- 【3月定例会議 一般質問】  
NARITAみらいプラン実施計画  
財政計画 施策体系別計画事業  
公設地方卸売市場特別会計

2018

## 空港とともに生まれ、ともに歩む

成田国際空港開港40年、両宮しんご40歳。この年に成田国際空港の3本目滑走路、B滑走路1000m延伸、夜間飛行制限の緩和という更なる機能強化が図られることが決まりました。「空港発展が成田の未来をつくる」と信じて活動してきた12年間に一つの成果を得ました。また、政策集団として全国各地の若手議員600人が所属する全国若手市議会議員の会関東ブロック(200人)の副会長を仰せつかり、関東から日本を変える政策立案を仕掛けています。

- 【6月定例会議 一般質問】  
成田国際空港の更なる機能強化  
自治会組織支援策 市民支援策FP活用  
吉倉地区新駅構想
- 【9月定例会議 一般質問】  
学校ICT環境整備  
小中学校熱中症事故防止対策  
ブロック塀及び通学路等への安全対策
- 【12月定例会議 一般質問】  
成田富里いずみ清掃工場の処理能力不足  
民間事業者へのごみ処理委託問題 ゴミ有料化
- 【3月定例会議 代表質問】  
成田国際空港政策 子育て・高齢者福祉  
将来負担比率連減 教育行政

...2019

## 未来の成田のためのに。

ライフワークとして今後も空港政策に取り組み、成田空港の機能強化と地域共生策を両輪で推進していかなければなりません。そして、新市場移転再整備を着実に進め、附属病院開設に向け新駅構想や医療産業集積を図ることで成田を飛躍させるべきです。

また、ニュータウン地区を一体的に再整備(赤坂センター地区(センタービル跡地、中央公民館、図書館、赤坂公園、保健福祉)することで子育て支援施設を確保し、地区再生と人口&雇用増に伴う受け皿確保に向けた基盤を整える必要があります。



「成田市の持続的な発展には、次代を担う世代が自ら行動することで自己実現できる環境を整備していくことが必要です。私は、命を守る防災・減災、福祉、教育分野はもちろんのこと、医療学園都市構想や成田空港のさらなる機能強化の推進、都市基盤整備、インバウンド強化といった成長分野にも力を注ぎ、未来の成田を照らす政策実現に向けて、積極的な議論を行っていくことをここに約束します。」

一般質問より

